

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	新築中の住宅内部で当日の作業が終わり、不用ダンボール紙を抱えて内部階段を下りる途中、足元が良く見えなかったため階段を踏み外して転倒し、中段の踊場に身体の左側を強打し負傷した。	66	1~9
1	11~12	作業所内に於いて、西面隣地擁壁ブロック解体ガラを、大型チリ取りを使用して、解体がらを小運搬中に、廊下スラブの鉄筋クズに躓き、前に転倒して、左膝を地面（スラブ）に打ちつけた。	66	—
1	9~10	D4棟屋上で、被災者が作業にとりかかるため、スラブの型枠コンパネ上を歩いていた際、コンパネ上が凍っていたため足を滑らせ前のめりに転倒し、左目付近を強打した。当時、コンパネ上は全面霜が降りていて、凍っていたため通行しないように指示されていたが、被災者は近道行動をして転倒した。なお、頭部に異常は見られなかった。	44	1~9
1	14~15	建物解体作業中、解体物をトラックの荷台に積み込むため後部のあおりを外した際に、あおり自体を支えきれず体のバランスが崩れ、背中側に向かって倒れた。倒れた際にあおりが右胸から右腕に当たり、右腕を骨折した。	26	1~9
2	9~10	当社加工場において廃材の整理作業中、路面の凍結凸凹に足を滑らせ左足を捻り負傷したものである。	22	10~29
2	11~12	企画ビル工事現場において、トラックを誘導しようと、ゲートを開けた際に、トラックが、後方にバックした為、安全確認の為歩道に向かった際、ゲート下部のワイヤーに足を引っ掛け転倒し、被災した。	67	—

2	7~8	作業所内でトイレに行こうとした時、場内のトイレが使えず蜜向かいの公園のトイレに行こうとして、入口のゲート下のワイヤーが右脚に引っ掛かって転倒し、右肩を打ち鎖骨を骨折した。	67	~	9
3	8~9	本社2階から1階土木部へ戻る途中、手に持った書類を読みながら階段を下りていた。最後の1段と思い左足を少し大きく踏み出したときに階段を踏みはずし、左足から1階床に落ち、左足首が捻れて転倒し、左足首靭帯が伸びてしまった。	52	~	99
3	16~17	資材置場にて1人で作業中に、物置上の資材を取るためにバタ角(120mm×120mm)の上に乗って作業をしていたが、バランスを崩してしまい、そのまま倒れて左足首を捻り負傷した。	22	~	49
3	10~11	新築現場において安全パトロールを行っていたところ、足場階段から足をすべらせ、階段の角に後頭部及び背中を強打し負傷した。	63	~	49
4	11~12	当社駐車場においてポンプ車を洗車中、後向きに歩いてつまずいて転び、足をひねった。帰宅して様子を見たが、右アキレス腱のあたりが痛くなった。	63	~	9
4	16~17	解体予定の建物内にて、タンスの木枠をばらしている最中、その廃材につまずき、バランスを崩し転倒し、右手・右足をコンクリート地面につき負傷した。	62	~	9
4	14~15	フォークリフトを使用し仮設足場材の運搬作業を行っていた際、荷下ろし場には床から3.1mの高さに鉄骨梁材があり、鉄骨梁とフォークリフトのマスト部分が接触したためフォークリフトが転倒し、投げ出された被災者が下敷きになった。被災者はフォークリフトの荷揚げ部分(ツメ)を上昇させたままバックしたと思われる。(上昇したマストの天端高さは3.3mであった。)	37	~	29
4	9~10	会社の土場で資材の片付け中につまずき左肩を資材にぶつけて負傷した。	68	~	29
	9~	共同住宅新築工事現場で天井下地組みの際、足場板を踏み外し転倒し、軽鉄材で左			1

4	10	腕を負傷した。	34	～
5	16～ 17	H=GL+約800mmの玄関ポーチ上から、次の住戸へ移動するために、プラスチック製のステップに足をかけて降りようとしたところ、プラスチック製のステップの端を踏んだためステップから転倒し、捨てコンクリート上に落下転倒し、左手首を捨てコンクリートに打ちつけた。	48	～ 9
6	9～ 10	マンション新築工事現場にて、スタイロフォーム張りの際、隙間目張り作業中に、雨で濡れたスタイロフォームを踏み、足元が滑り転倒した。その際に、左膝を打ち負傷したものである。	64	～ 9
6	15～ 16	会社（本社）の倉庫内で道具を探している際に、地下へ続く階段でバランスを崩し、階段床に右手指をつき、右手薬指第1関節付近を骨折した。	50	～ 24 99
6	17～ 18	会社の資材置場で杭を整理している時、地面に置いてある杭に躓き転倒して、前腕部を鉄材に打ちつけ打撲し、右腕部を骨折した。	36	～ 9
6	17～ 18	終業後の片付中、手には何も持っていない状態で現場内の敷鉄板上を歩行していたところ、敷鉄板の段差約7mmで足を躓き、1.5m前の鉄板段差約22mm部分で左膝を強打した。その場でうずくまっているところをすぐ周囲にいた同僚に発見された。	49	—
6	11～ 12	地中梁コンクリート打設中、鉄筋を洗いに行くため左手にバケツブラシを持ち、右手は仮囲い水平材を持ち、型枠サポートを跨ぎ渡った際に足が滑り、転倒して腰の辺りを強打した。	64	～ 9
7	8～ 9	当社置き場において加工前の在庫であるベニヤ板（600×1800×2）の移動作業中、平積みされていたベニヤ板約100枚（高さ約1.3m）の上でバランスを崩し、足を踏み外し左足を平積みのベニヤ板とベニヤ板の隙間に落とし受傷した。	23	～ 9
7	8～ 9	工事現場で、2階Ⅱ工区の柱主筋圧接作業のため、床に置いてある柱主筋材のサンダー掛けをしようとしたところ、型枠材1枚が鉄筋上にかぶさっていたので、それを取り除こうとした時、足元にあったHOOP筋につまずいて転倒し、左足を負傷し	56	～ 10 29

		た。		
7	9~10	外部足場上で安全帯が右足首に引っ掛かり、足首を捻ったまま倒れ、全体重が右足に掛かった状態になり、右足首を骨折した。	50	1 ~ 9
7	14~ 15	4階建て事務所ビルの解体工事中、3階スラブ上にて作業をしていたところ、解体ガラを下階に投下するための駄目穴（30cm×30cm）に右足を落としてしまい、バランスを崩した際に右腕を強打し、右肘内側の靭帯を損傷した。	34	1 ~ 9
7	16~ 17	当日の作業終了後、解体工事現場脇の通路を駐車場に向かうため移動中、通路の右に置いてあったトンパックの荷吊り用帯紐に右足を引掛けてしまい転倒し、負傷した。	60	30 ~ 49
7	7~8	現場進入ゲート前で、現場入場の際に地図を見ながら歩いていたため、ゲートあたり防止の下部ワイヤーに気付かず、足が引っ掛かり、転倒して負傷した。	44	30 ~ 49
9	16~ 17	鉄筋組立工事中、現場に水たまりがあり、すべって転倒（左足が前にすべり右ひざの少し上部分骨接発生）	45	10 ~ 29
9	8~9	アスファルト上に設置したコンテナBOX前で、コンクリート殻を一輪車にて運搬しコンテナBOXに入れる作業をしている時、スロープに使用していた足場板に一輪車で通過中、足を右側へ踏み外し右側へ倒れ、右足首を痛めた。	34	1 ~ 9
9	16~ 17	新築工事現場内4階1号非常用電機室内で、電機システムにおける室内給気ダクトを施工中に壁貫通ダクトにファイアダンパに接続するため、当該ダンパを電動ウィンチにより吊り上げ、高所作業車に2名が乗車し、フランジを接合しようと吊り上げられた当該ダンパを高所作業車の作業床から人力によって押し込んだ反力の作用で、高所作業車が転倒し床に身体を打ちつける災害に至ったものである。	44	1 ~ 9
9	16~ 17	新築工事現場内4階1号非常用電機室内で、電機システムにおける室内給気ダクトを施工中に壁貫通ダクトにファイアダンパに接続するため、当該ダンパを電動ウィンチにより吊り上げ、高所作業車に2名が乗車し、フランジを接合しようと吊り上げら	53	1 ~

		れた当該ダンパを高所作業車の作業床から人力によって押し込んだ反力の作用で、高所作業車が転倒し床に身体を打ちつける災害に至ったものである。		9
9	16～ 17	住宅建築現場において、被災労働者がバルコニー土間枠固定の貫を引き抜こうとしたところ、貫が折れてそのまま700mm高低差のある右後方に倒れ込み、地面に右手をつき負傷した。	39	1～ 9
9	19～ 20	夜に営業活動している中で、当社顧客様宅へ訪問した際、ご自宅のアプローチの石につまずいて転んだ、その際、右ヒザを痛めた。	51	50～ 99
9	13～ 14	防火水槽蓋改修工事の準備の為、元請の駐車場兼資材置場にて、3tダンプの荷台から、マンホールの蓋を降ろそうとした際、下半身が踏ん張りが効かず、バランスを崩し転倒、その際、マンホールの蓋が、左下腹部に落ち、圧迫される形となってしまった。	52	1～ 9
9	10～ 11	建設地敷地内移動中、基礎部コンクリートより出ている鉄筋（30cm）に足を引っ掛け転倒、右手で体を支え、右手首を骨折した。	38	10～ 29
10	0～1	現場巡回中に屋上の床に躓き足を滑らせて転倒し、左膝を骨折した。	68	1～ 9
10	8～9	場内の片付け時、被災者が建物内にある立ち馬を持ち建物外まで運ぼうとしたところ、段差につまずき、コンクリートの地中梁の上に転倒し、腰を強く打った。	36	10～ 29
10	14～ 15	資材置き場において、4トンユニッククレーンを使用しその補助者としてブロックの整理整頓をしていたところ、吊っていたブロックがバランスを崩し大きく倒れ、そのはずみで後方に転んでしまい、足を打った。（工事の準備ではなく、資材置き場自体の整頓中）	29	10～ 29
11	13～ 14	営業打ち合せの為、車で移動中、車がスタックした為、ギアをニュートラルにして車外に出て車を押したところ、車が緩やかな土手を滑り落ちてしまい、止めようと	57	1～

		してドアに挟まれたまま滑り落ちた為、胸を強打し負傷したものである。		9
11	14~ 15	地上外部の鉄骨ヤードで、1人で鉄骨馬を移動させようと、鉄骨馬を傾けたときに躓いて、左足甲に鉄骨馬が倒れ被災した。	26	1~ 9
11	16~ 17	駅前リノベーション計画分譲マンションA棟新築工事で、スラブ張り作業をしていたところ、スラブの精度を求める為地中梁鉄筋から2m単管パイプでスラブの小口を合わせようとしていた。鉄筋からパイプが外れて勢いの余り転倒して、右手首を負傷した。	43	—
11	15~ 16	建物3階スラブ上で、返し型枠の段取りの為、型枠材を両手で運んでいる時に、スラブ鉄筋上にメッシュロードが敷き込まれていない状況下であった。スラブ鉄筋上を歩行中に、スラブ鉄筋に躓き転倒し、腰をコンクリート床に強打した。		1 70~ 9
11	12~ 13	社内階段を1階から2階へ上がる時に、足が躓き転倒した。その際に胸を強打した。		1 24~ 9
11	3~4	1階柵足場組立作業において、当日の作業が終了し、作業終了後の片付けの確認及び翌日の仕事で使用する防災シートを右手に抱え、階段を上った。上りきったところで躓き前方に転倒しジョイントピンに右目を打った。(原因) 1.ジョイントピンの放置。2.夜間工事で足元が暗かった。3.右手で防災シートを抱えていた。4.作業が終わり、気の緩みがあった。		1 38~ 9
12	7~8	朝、現場についたあと、道具(バール、インパクト)を両手に持ち現場ゲートから入場スロープ上の鉄板上に少し雪があったため足を滑らせ転倒して、敷鉄板上に腰から落ちて腰を負傷した。		1 65~ 9
12	8~9	硝子材搬入時、作業通路を確保するために、一階部屋の資材を片付けていたところ、開口部養生用のコンクリート蓋を避けようとして、バランスを崩し転倒した。その際、右足の2カ所を骨折し、被災した。		10 51~ 29
12	14~15	事務所棟1階の用務員室にて、内部造作物撤去作業中、被災者が脚立から降りようとしたところ、誤って足を踏み外し、バランスを崩して2段目から転落し、脚立に足を		10 35~

		からめて負傷した。		29
12	16~17	舗装工事中、養生用のプラスチックベニヤ板が風で道路に飛んだため、慌てて拾い に行き拾い上げたが、右足でその板を踏んだまま拾い上げてしまい、滑って転倒 し、アスファルト路面に左膝を打ちつけた。	46	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html